

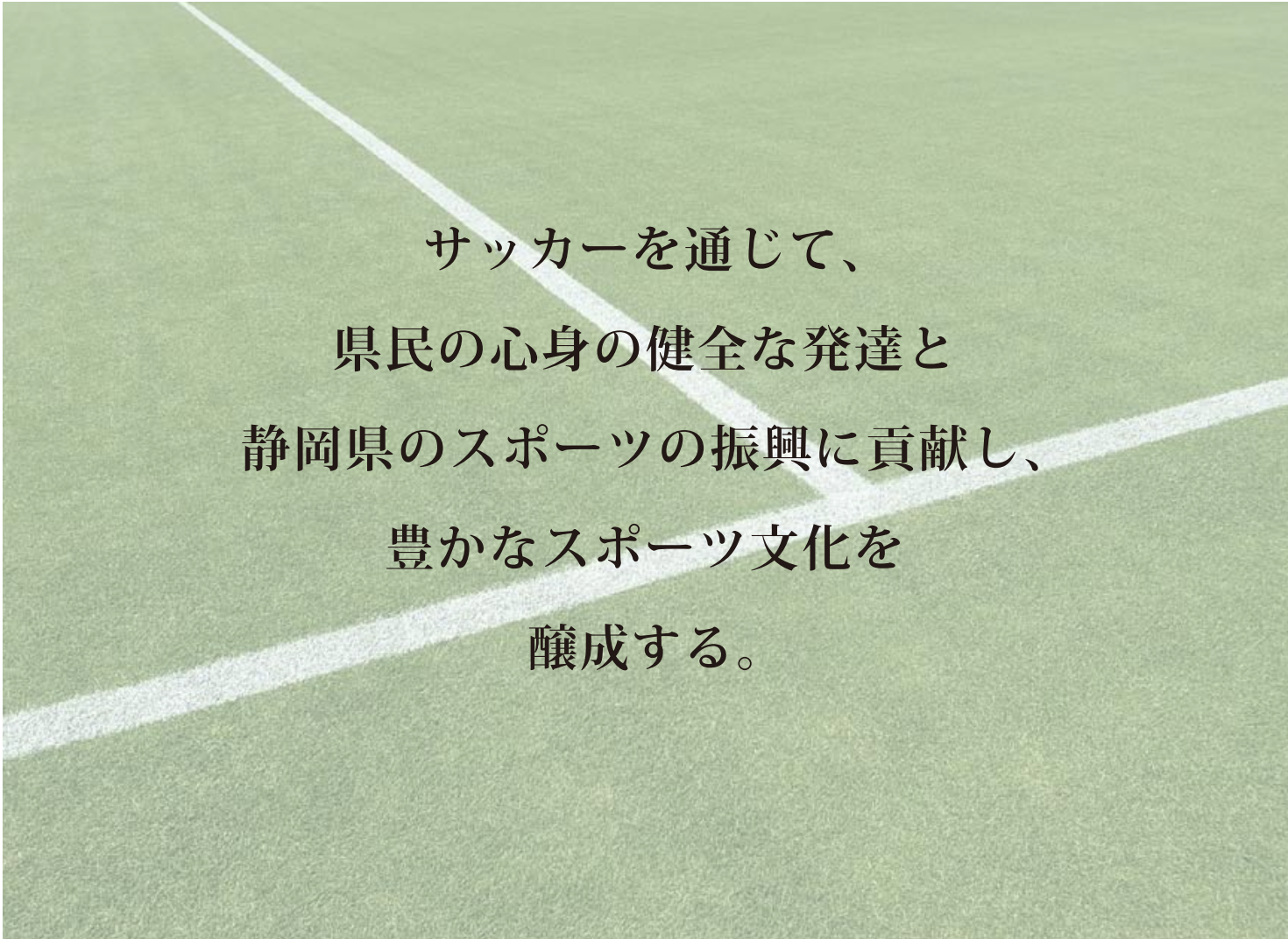
# SFA Mission File

## 2015



一般財団法人 静岡県サッカー協会

# SFAの理念



サッカーを通じて、  
県民の心身の健全な発達と  
静岡県のスポーツの振興に貢献し、  
豊かなスポーツ文化を  
醸成する。

# SFAのビジョン

サッカーの普及に努め、  
スポーツをより身近にすることで、  
人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、  
静岡県代表が日本で、世界で活躍することで、  
人々に勇気と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、  
国内の、さらには世界の人々と友好を深め、  
国際社会に貢献する。

# SFAのスローガン



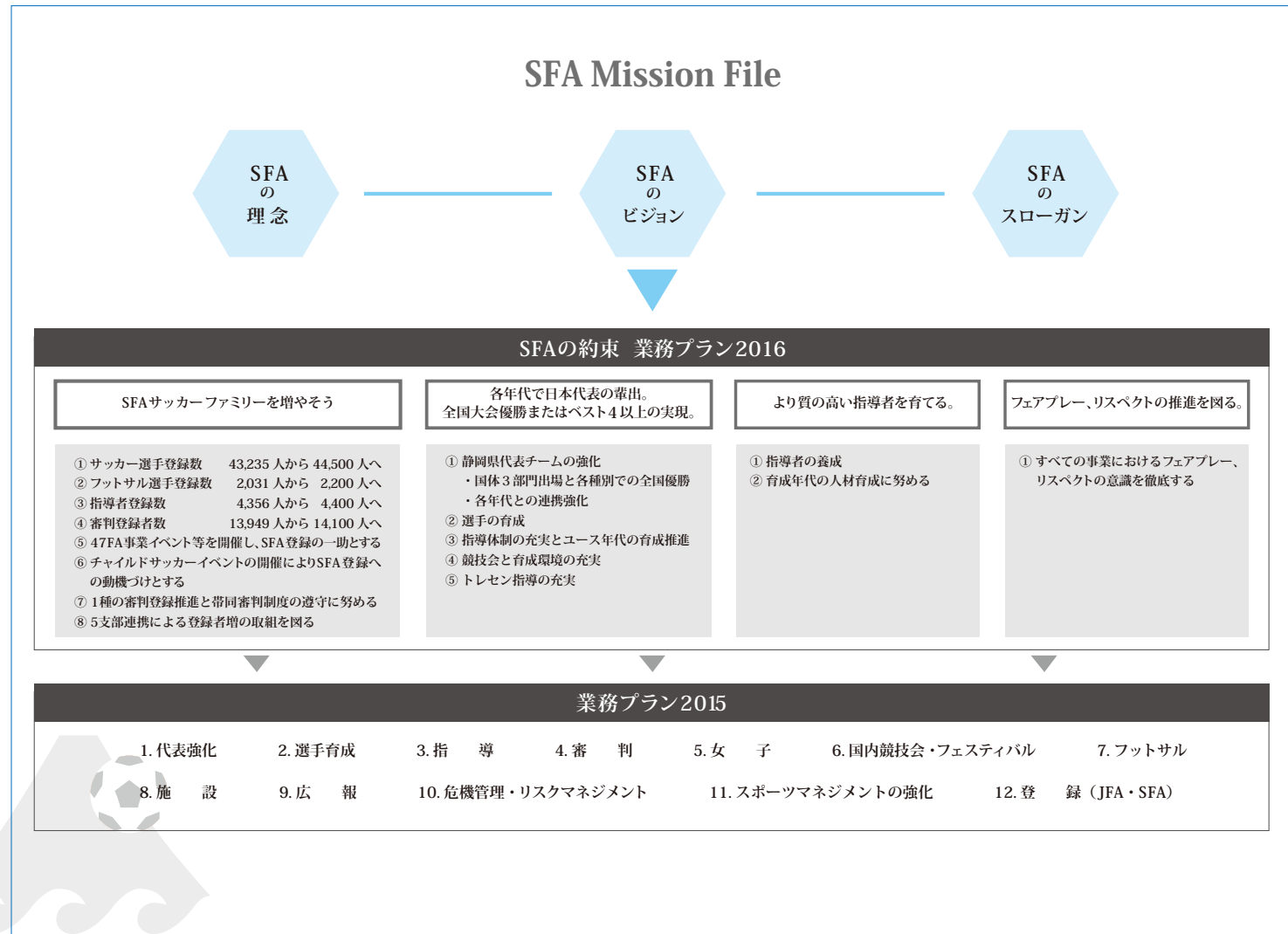
**Active  
Aggressive**

**Active Aggressive** アクティヴ・アグレッシヴ＝活動的に積極的に

これまで以上に「活動的」に取り組んでいこう、そして「積極的」に働きかけよう、という意志をダブルの「A」を頭文字とした言葉で、視覚的にも訴求。組織としてのスピリッツとエネルギーを感じさせる語感で。

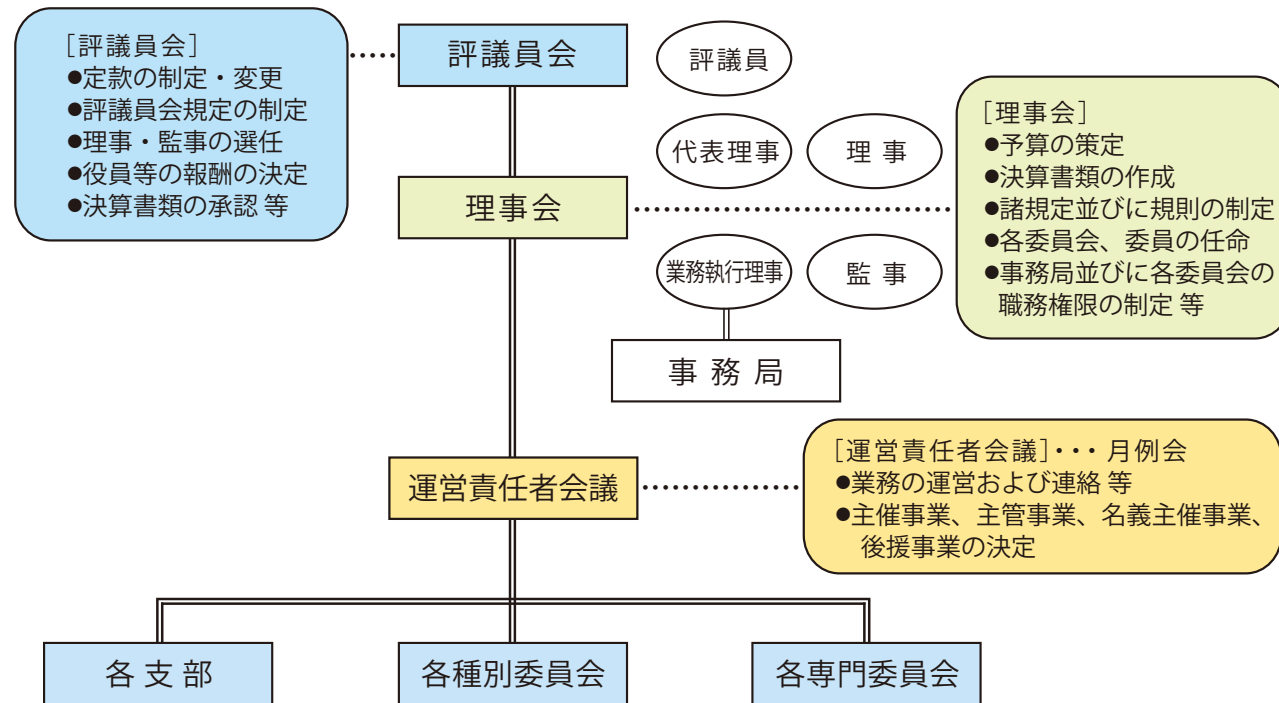
**A**の緑色はリスペクト精神「大切に思うこと」、そしてフィールドを表現。の青色はフェアプレー精神とサッカーを通じて友好を深め、社会に貢献することを表現。

# SFA ミッションファイルの概要



# SFAの組織機構

一般財団法人 静岡県サッカー協会 【組織図】



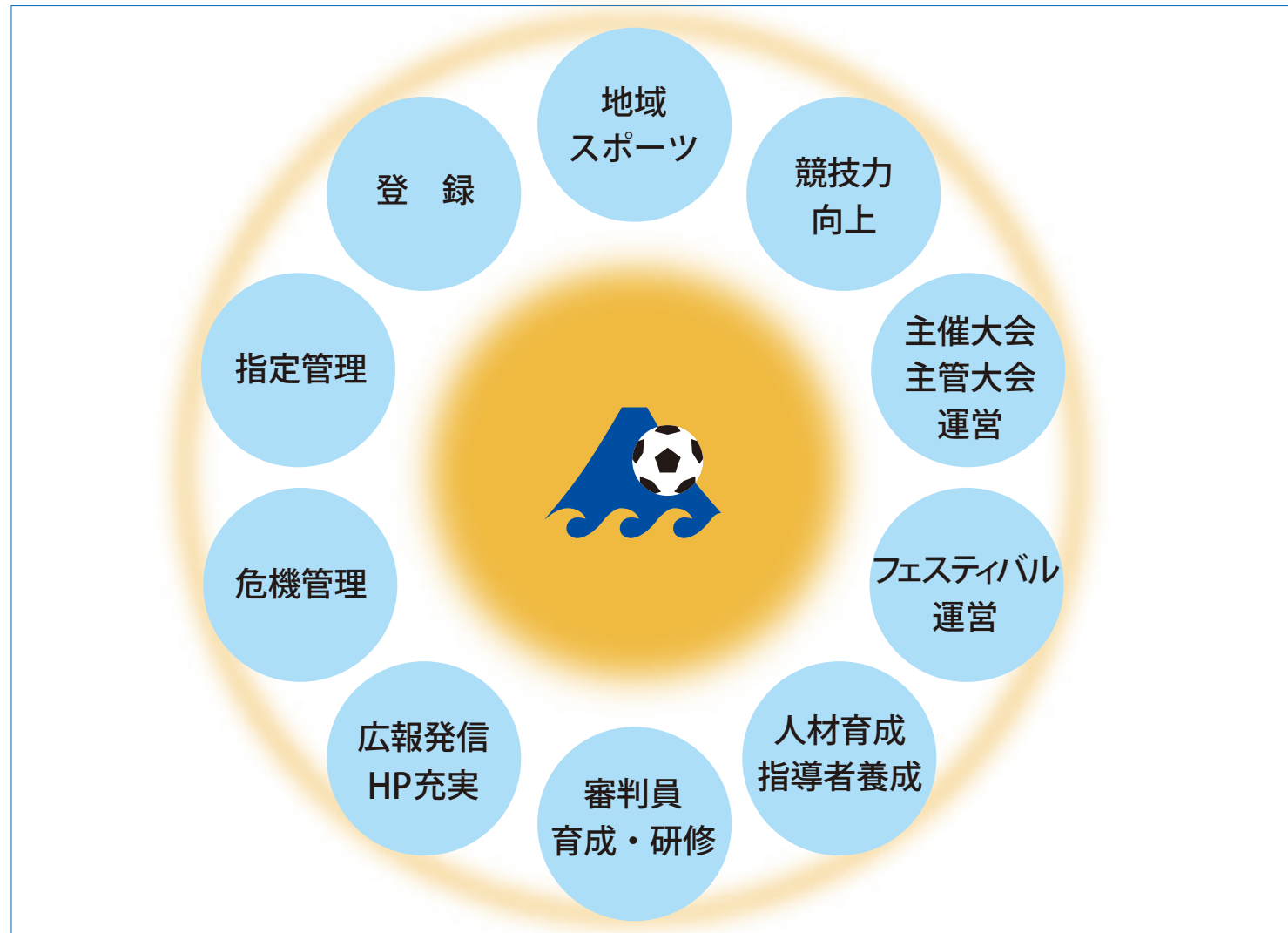
**評議員会・理事会の議決**

評議員会、理事会とも議決に加わることができる評議員・理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。  
代理出席や書面表決は認められない。

# SFA ステークホルダー



# SFAの活動





# SFA の約束 / 2016 業務プラン

- サッカーファミリーを増やす
- 各年代で日本代表の輩出および全国大会優勝又はベスト 4 以上の実現
- より質の高い指導者を育てる
- フェアプレーとリスペクトの推進を図る

（SFA を中心とした静岡県内の関係者が  
共有・遂行していくものである。）

# SFA の約束／業務プラン2015 に向けて

業務プラン2015は、SFAの約束プラン2016の実現を目指して、代表強化、選手育成、指導者等の**12項目**を重点目標として推進する。これを基に、事業計画・予算（案）を作成する。また、種別委員会・各種委員会・各支部等の責任者とのヒアリングを実施して、次年度の計画および予算策定をする。

# SFA の約束／業務プラン2015 《トライ12》

## 1. 代表強化

- ① 2020年東京オリンピックに向けての強化、国体優勝奪還に向けての強化を図るため、2種・3種・4種・女子の各カテゴリーの海外遠征を実施する。
- ② 育成年代(U-15)の強化及び人材養成を目的に、静岡ゴールデンサッカーアカデミー2015「スルガカップ2015 静岡国際ユース(U-15)サッカー大会」を開催する。
- ③ SBSカップ国際ユース(U-18)サッカー大会を開催し、静岡県ユース年代の強化を図る。
- ④ 少年・成年・女子3部門の和歌山国体出場と、本大会での優秀な成果を挙げるため強化を図る。

## 2. 選手育成

- ① 47FA 公益目的事業の充実と事業の継続進化を図る。
  - ・キッズプログラムの推進事業
  - ・中学生年代の環境充実事業
  - ・女子サッカーの活動推進事業
  - ・フットサルの普及推進事業
  - ・都道府県内競技会開催事業
  - ・国際競技会の開催事業
  - ・トレセン事業の推進
  - ・各年代リーグ推進事業
  - ・Jクラブとの協働事業

# SFA の約束／業務プラン2015 《トライ12》

## 3. 指 導

- ① 公認指導者のリフレッシュ研修の充実を図る。
- ② 人材育成の充実を図る。
  - ・静岡ゴールデンサッカーアカデミー 2015 の実施
- ③ 指導者養成事業として、技術委員会推薦による指導者をサッカー先進国に派遣する。
- ④ SBS 国際ユース大会時に、JFA との連携により指導者研修 (技術・審判) の場を提供する。

## 4. 審 判

- ① 新規審判登録者数を増やす。
- ② 審判資格登録者の更新率を上げる。
- ③ 登録審判員の育成・強化に努める。
- ④ ジュニア、ジュニアユースを対象に競技規則の理解とフェアプレー、リスペクトの大切さを伝える。
- ⑤ ユース審判員及び女子審判員の発掘と育成に努める。
- ⑥ 機関誌「10Y」を発行する。

# SFA の約束／業務プラン2015 《トライ12》

## 5. 女子

- ① 和歌山国体出場を目的に強化を図る。
- ② 皇后杯、チャレンジリーグ参入戦、全国レディース大会等主管事業の運営協力をする。
- ③ 女子ジュニア年代、ユース年代での顕著な活躍を継続していくため、指導者相互の研修を推進する。
- ④ フットサル静岡県女子選抜の全国大会出場を目指す。

## 6. 国内競技会・フェスティバル

- ① 国際試合の開催
  - ・2015 SBSカップ国際ユースサッカー開催
  - ・スルガカップ静岡国際ユース(U-15)サッカー大会開催
- ② 天皇杯、皇后杯の開催
- ③ 全国シニアサッカー大会(50歳以上)開催
- ④ JFAフットボールフューチャーズプログラム／トレセン研修会(U-12)開催
- ⑤ 全日本フットサル選手権大会開催
- ⑥ 全国レディースサッカー大会開催
- ⑦ ヤングサッカーフェスティバル開催
- ⑧ JFAフットボールデー開催
- ⑨ JFAフェスティバル開催

# SFA の約束／業務プラン2015 《トライ12》

## 7. フットサル

- ① 社会人フットサルリーグの充実及びレベル向上を図る。
- ② 全日本フットサル選手権全国優勝を目指す。
- ③ 全日本女子フットサル選手権全国優勝を目指す。
- ④ Fリーグ アグレミーナを支援する。
- ⑤ 全国大会・フットサルフェスティバルの開催
- ⑥ フットサルサッカーファミリーを増やす。

## 8. 施設

- ① 静岡県サッカー協会フットボールセンター設立に向けて。
  - ・ 計画策定(案)及び候補地選定(案)等の推進
- ② 指定管理者小笠山総合運動公園(エコパハウス)
  - (1) 利用の促進：全国レベルの大会の誘致を始め、地域利用・多目的利用を推進し、地域の企業や各種団体とも連携して利用促進に努める。
  - (2) 利用者満足度の向上：利用者サービス・接客サービスの向上を図り、また、公園の魅力を積極的に発信して利用促進に努める。
  - (3) 安心・安全の提供：安心・安全を優先した施設の管理維持や長寿命化の観点から維持補修を実施する。また、訓練等の実施により、防災拠点であることの周知に努める。

# SFA の約束／業務プラン2015 《トライ12》

## 9. 広 報

- ① SFAのHP活用による情報発信をする。
- ② メディアへの情報提供
- ③ 5支部との連携により各支部の広報誌の充実を図る。

## 10. 危機管理・リスクマネジメント

- ① 2015年度規律委員会設立と委員会の開催
- ② JFA規律委員会・裁定委員会・懲罰規程の再確認
- ③ 危機管理意識の徹底と再認識
- ④ フェアプレー・リスペクトの啓発活動推進

## 11. スポーツマネジメントの強化

- ① スポーツマネージャーズカレッジ静岡県サテライト講座の開催

## 12. 登 録 (JFA・SFA)

- ① 全てのカテゴリーで登録手続きを新 KICK OFF システムに移行

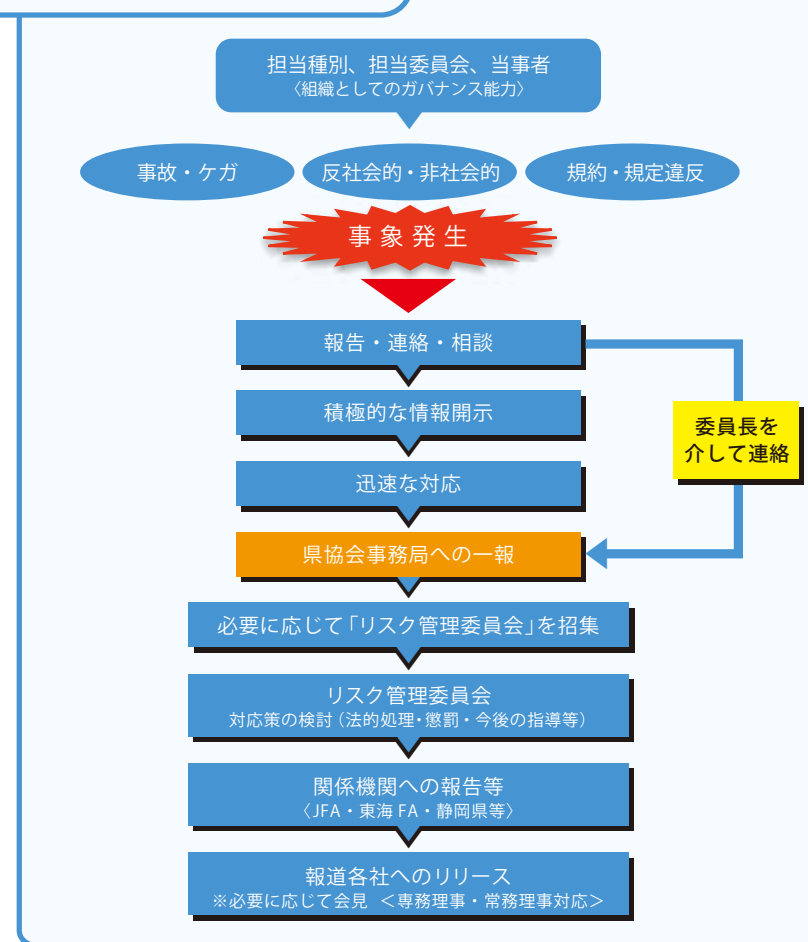
# SFA 「リスク管理委員会」とは

業務プラン2015  
《トライ12》

## 10. 危機管理・ リスクマネジメント

サッカー事業を推進していく上で直面するリスク<sup>※1</sup>やコンプライアンス違反<sup>※2</sup>に対して社会的な責任を果たすために、迅速で適切な対応を管理・実行する委員会。 <sup>※1</sup>リスク(危険)/危険に遭う可能性や損失を被る可能性 <sup>※2</sup>コンプライアンス(法令遵守)違反/信用失墜による活動の制限

リスク管理委員会 対応フローチャート



### 【リスク管理委員会メンバー】

- 委員長：杉山 隆一 (副会長)
- 副委員長：竹山 勝自 (専務理事)
- 委員：深田 徹 (常務理事)
- 委員：長野 哲久 (監事)
- 委員：松本左千夫 (評議員)
- 委員：岡本 知之 (評議員)
- 委員：鈴置修一郎 (理事)



## 「規律委員会」の設置

### 【目的】

- 競技及び競技会に関連する違反行為に対して調査及び審議並びに懲罰の決定
- 違反行為の防止とその対策

### 【構成・活動】

- 各支部、各種別、各委員会、技術、審判から選出された委員で構成
- 委員会の定期的開催
- フェアプレー、リスペクトの推奨

# SFA 「ウェルフェアオフィサー」の設置

業務プラン2015

《トライ12》

10.

危機管理・

リスクマネジメント

## ウェルフェアオフィサーとは

ウェルフェアとは、幸福、快適な生活や環境等を意味する。サッカーやスポーツを楽しむ大前提として、子どもたちの安心・安全を守る担当者をウェルフェアオフィサーと呼ぶ。

- 選手がいるから。
- 審判がいるから。
- 仲間がいるから。
- 指導者がいるから。
- 支えてくれる人がいるから。
- サッカーボールがあるから。
- サッカーをする場所があるから。

「フェアプレー」  
「リスペクト」の  
啓発活動推進

**選手の  
RESPECT**

自分の持てる能力でチームに貢献する。審判、相手チーム、コーチ全ての関係者に敬意を払う。ルールを尊重する。試合終了後は、相手チームの選手および審判と握手。

**コーチの  
RESPECT**

常に前向きに手本を示す。フェアプレーを推進。審判の判定を尊重。相手チーム、審判に敬意を払う。

**保護者・観客の  
RESPECT**

子どもたちは「楽しむ」ことを求めてサッカーをしていることを忘れない。良いプレーは褒める。選手への指示はコーチに任せる。

## 2015年 47FA公益目的事業活動支援金・ 基盤強化支援金

- 公益目的活動支援金充当にあたり、事業活動計画および事業報告業務を遂行することにより、マネジメント能力を高める。
- 今までの事業の成果を評価し、継続することを基本原則とする。
- 事務所管理経営の安定基盤を構築する。

## JFA サッカー施設整備助成事業

静岡県サッカー協会  
フットボールセンター設立を目指して

- ①「グラウンド」の新設（天然芝 or 人工芝）
- ②「夜間照明設備」の新設
- ③「クラブハウス」の新設



- 静岡県、各市群町村の行政機関との連携を図る。  
(2015年－2022年)
- JFAよりの補助金制度活用推進

# SFA 東海サッカー協会 法人化に向けて

- 一般社団法人化を目指す
- 2015年4月より一般社団法人化に向けた調査・調整を進める
- 2016年3月までに一般社団法人格を取得する
- 幹事県としてスムーズな業務推進を図る

# 繼續進化

